

第5回 「全国主要空港における大規模自然災害対策に関する検討委員会」 議事概要

【第4回委員会での主な指摘事項について】

○意見なし

【荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会について】

- 事故の重大性を鑑みると、今後の対策方針のみならず、発生した原因も突き詰める必要がある。
- 過去の関西国際空港周辺における船舶の走錨事例を受けて、関西国際空港だけでなく他の空港周辺等でも錨泊制限を設けることを検討すべき。
- 道路における過積載車両の例も踏まえると、ルール遵守や自粛の要請で終わるのではなく、もう一步踏み込むことが必要ではないか。

【災害等の非常時における外国人旅行者対応について】

- 外航エアラインの情報がとれていない場合も見受けられることから、情報にムラがないようにすべき。
- 災害時には、情報を一元的に集約しなければ、現場で何が起きているか分からず正確な判断や情報提供ができないのではないか。
- 二次交通についての関係者間の連携が重要。検討にあたっては、入国と出国の両方の動きを意識すべき。
- 今後、更にスマートフォンへの依存が進むと考えられるため、避難場所や交通状況等について、アナウンスでの情報提供に加え、スマートフォンやタブレットに一元的に提供できるようにすべき。また、訪日外国人の出身国からも安否が確認できる仕組みもあればよいのではないか。
- 現状の非常時の情報提供には改善の余地が大いにある。災害時に情報が不足するのは日本人だろうと外国人だろうと同じであり、外国人にだけ特化して対応するというのには違和感がある。

【中間とりまとめ(案)について】

- 中間とりまとめ(案)については委員長に一任。委員から頂いた意見を踏まえて修正を施した上で、「中間とりまとめ」を公表。